

自己評価報告書

平成23年 5月17日現在

機関番号：80101

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20720179

研究課題名（和文） 北東北諸藩の藩庁日記にある松前・蝦夷地関係記事の基礎的研究

研究課題名（英文） Basic Study on the Articles related to Matsumae and Ezo ground that exist in the Clan Agency Diaries of the Clan in Northern Part of the Tohoku Region

研究代表者

三浦 泰之（MIURA YASUYUKI）

北海道開拓記念館・学芸部・研究員

研究者番号：50300843

研究分野：日本史学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：日本近世史・北海道史・北東北諸藩・藩庁日記

1. 研究計画の概要

(1) 研究目的：本研究では、第一に、北東北諸藩（具体的には、弘前藩・南部藩・八戸藩）の藩庁日記に登場する松前・蝦夷地関係記事を網羅的・体系的に把握し、データベース化を行うことを目的としている。そして、第二に、その作業を通じて、近世期の松前・蝦夷地をめぐる政治的・社会的・経済的・文化的な状況に関して、新たな事実と論点を提示することも目的としている。特に、近世期の北海道を対象とする研究、それも近世中期までの時期を扱った研究においては、松前藩政に関わる文書や藩領域内の地方文書の不足に基因する史料上の限界が指摘されており、本研究を通じて把握する資料によって、その「限界」が多少なりとも克服されることが期待される。

(2) 調査方法：弘前藩の『弘前藩国日記』3300冊余（寛文元年～元治元年）、南部藩の『雑書』（寛永21年～天保11年）180冊余、八戸藩の『八戸藩日記（御目付）』（寛文5年～明治2年）250冊余・『御勘定所日記』（貞享2年～明治元年）110冊余を悉皆調査し、松前・蝦夷地関係記事を抽出する。そして、松前藩側の関連史料や、この三藩に関わる藩庁日記以外の関連史料についても調査を実施する。

2. 研究の進捗状況

(1) まず、最も量が多く、松前・蝦夷地関係記事の豊富な『弘前藩国日記』の調査に着手した。平成22年度までに、寛文元年から文久元年にかけての計3199冊、約97%の作業を終えた。

(2) 南部藩、八戸藩の藩庁日記に関しては、既に一部分が翻刻刊行されている分について、調査を進めた。なお、南部藩は『盛岡藩

雑書』もしくは『盛岡藩家老席日誌 雑書』の書名で明和元年までの分が全文翻刻刊行されており、八戸藩は『八戸市史 史料編』近世1～10の中で抜粋翻刻されている。

(3) 収集した史料に関わる個別研究としては、例えば、『弘前藩国日記』の中から、いずれも領主階級の嗜好品として著名であるが、流通・利用の実態があまり知られてこなかった「蝦夷錦」と「ラッコ皮」に関わる記事を取り上げ、18世紀中期までの時期における弘前藩領内での流通・利用の実態について、その一端を明らかにした。具体的には、弘前藩は蝦夷錦やラッコ皮を主に松前藩や松前城下の御用商人に依頼して取り寄せていたこと、ラッコ皮は主に藩主が用いる馬鞍に覆い敷く毛皮として用いられたこと、などが挙げられる。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

『弘前藩国日記』の悉皆調査を、わずかに平成23年度まで持ち越してしまったが、ほぼ順調に藩庁日記の調査を進めている。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 最終年度である平成23年度には、まず、『弘前藩国日記』の調査を終える。

(2) 次に、南部藩、八戸藩の藩庁日記について、刊行物やマイクロフィルムなどを活用しつつ、効率的に調査を進める。

(3) 4年間の調査を通じて収集した関係記事の情報を整理し、データベース化を行う。

(4) 収集した関係記事に関わる国内における研究成果の検討を行い、今後の研究の発展的な展開に向けて、方向性を導き出す。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

- ① 三浦泰之「史料紹介 松前藩足軽木村源吉『公私日記』—近世後期における松前藩足軽の職務と日常生活—」、『北海道開拓記念館研究紀要』第39号、159-260頁、2011年、査読無
- ② 三浦泰之「近世中期における蝦夷錦とラッコ皮の流通をめぐる一史料 —一七五〇年代までの『弘前藩御国日記』の事例から—」、『北方の資源をめぐる先住者と移住者の近現代史—北方文化共同研究報告—』、北海道開拓記念館、181-194頁、2010年、査読無

〔図書〕(計2件)

- ① 若尾政希・菊池勇夫編『〈江戸〉の人と身分5 覚醒する地域意識』吉川弘文館、2010年、199-229頁
- ② 北海道開拓記念館『2008 移動博物館図録 歴史再発見 日高の風』北海道開拓記念館、2008年、24頁